

ペットへの愛情と責任



あなたの愛犬・猫は、ご近所に迷惑をかけていませんか？
「犬の散歩の際、フンをそのままにしていく人がいる」「近所の飼い猫が家や庭に侵入し、フンや尿をすることでとても困っている」という苦情が多く寄せられています。愛情と責任をもった飼い方を、飼い主の皆さんにお願いします。

犬のフンの始末を！

数少ない無責任な飼い主のために、道路や公園、玄関前などが犬のフンで汚されています。
犬の散歩をするときにはフンがつきものです。飼い主が責任をもって始末し家に持ち帰りましょう。
また、必ずフンの始末ができるものを用意してください。(シャベル、ビニール袋など)



犬のフンの取り方

1 フンの上にトイレト
ーパーをかぶせます。



2 ビニール袋を
手袋のようにして
フンをつかみます。



3 袋を反転して
口をしばれば手を
汚さずに簡単に処
理できます。



猫は室内で飼いましょう

猫の健康と安全、病気や事故の防止などのため室内で飼うようにしましょう。
猫を外飼いすると、フンやゴミあさりなどをし、悪臭のもとになります。また、かわいそうだからといって野良猫にエサを与えないでください。猫が集まってきて近所の迷惑になります。
野良猫にエサを与えることは、飼っているのと同じことです。



※猫の繁殖期は初春から晩秋で、この間にメス猫は、発情・妊娠・出産を2～3回繰り返し、1回の出産で4～8匹の子猫を産みます。生まれた子猫は生後8カ月くらいで、子猫を産めるようになります。
毎年、妊娠・出産を繰り返すと、1匹のメス猫であつという間に何十匹にも増えてしまいます。
繁殖を望まない場合は、不妊去勢手術をしてください。

犬・猫を捨てる行為は犯罪です

【50万円以下の罰金】

適正な飼育をしないため、増えてしまい捨てられる犬・猫は後を絶ちません。
特に猫は放し飼いする人が多いため、簡単に繁殖し野良猫が増え、畑を荒らすなどして他人の迷惑にもなります。
こうした犬・猫は保健所に引き取られますが、新しい飼い主に出会うことは少なく、最終的には殺処分されてしまいます。
その数は、日本全国で年間約40万頭…。人も動物も、命の重さは同じはずです。
無駄に命を犠牲にすることのないように、真剣に考えましょう。



秋の研修予定

「元気な香南市」となるために、この秋にもたくさんのセミナーが計画されています。市民の皆さんにどんどん参加していただき、「こうなんの元気ネットワーク」をつなげていきましょう。

9月14日
旅のおしごと会議「みる」
成功事例等研修会 : 弁天座

講師: 愛媛大学准教授
観光まちづくりコース
佐藤亮子さん



「観光」とは何か、どう見るか、見せるのか、素朴な売り買いの場である「市」をヒントに考えていきます。

9月28日(3回)
一次産物を活用できる
人材育成研修 : のいちふれあいセンター

講師: 株式会社IMC 橋詰 徹先生
一次産物を活用できる人材育成研修の第二弾。
香南まるごとプロジェクト『カタログ掲載商品企画に挑戦しませんか?』を開催します。みなさんのアイデアを待っています!!



10月(3回)
地域資源を活用した
料理人養成講座 : 場所未定

10月講師
桐島美郷さん



東京世田谷でオーガニックのみや『キヨビスカ』を運営されていた桐島さんをお迎えし、香南市の食材を使って、香南市ならではのオリジナルメニューの開発をしていきます。

なぜ赤岡が「塩の道の起点」なの?
とんぼとんぼ おとまり
あかおかの市で
塩こうて ねぶらっしょ

この童謡で赤岡の塩の由来が聞こえてくるようです。
およそ400年前、大阪天満から元城主・日和佐権守正儀(浜五郎兵衛)を赤岡へ移住させた元親は、大庄屋の称号を与え揚げ浜式製塩を奨励。やがて大潮吹きより、遥かに味の良い真塩が量的に生産され、與楽寺山門で真塩・差塩との物々交換が盛んになり横町、弁天通りに発展しました。その山門位置が現在の浜田餅店に当たります。この赤岡の塩は、県境の一の瀬峠、岩原、東祖谷、四足峠まで運ばれました。

昔人の往還道 「塩の道」案内人 養成講座のご案内

10月10日(土)9:00のいちふれあいセンター

「なぜ赤岡が塩の道の起点なのか」 野村土佐夫氏
「ガイドの心得」 土佐観光ガイドボランティア協会
前副会長 松本和子氏

10月17日(土)9:00のいちふれあいセンター

「道をつなぎ心をつなぐ」 高知大学 玉里恵美子先生
「香我美町・塩の道沿線の歴史」 山本幸男氏(詩人・郷土史家)

10月18日(日)9:00赤岡保健センター

「妻籠宿案内人の実践」 長野県(財)妻籠を愛する会事務局長
藤原義則氏
「ウオーキングの感動」 高知県ウオーキング協会会長
橋本邦健氏

10月31日(土)9:00赤岡保健センター

「赤岡町・塩の道沿線の歴史」 野村土佐夫氏
「野市町・塩の道沿線の歴史」 郷土史家 徳弘博氏

11月7日(土)9:30…香南の塩の道をバスで訪ねる

「赤岡町を見る」 野村土佐夫氏
「野市町を見る」 徳弘 博氏
「香我美町を見る」 山本幸男氏

<研修会お問い合わせ先>
香南市地域雇用創造協議会事務局(近森・松田)57-1131



ミニレポート

香南市で行われたセミナー風景です。この他にも、雇用につながるセミナーが、各分野で進められています。

海辺の探索ガイド養成講座
(NPO法人YASU海の駅クラブ実施)

障害のある人も楽しめる「障害者のマリンスポーツ」の体験や、シーカヤック・シュノーケリングの知識を学ぶなど、さまざまな海に関することを勉強していきましょう。



地域雇用創造
推進事業
☎ 57-1131



地域雇用創造
実現事業
☎ 57-7211